



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社 浅沼組 上場取引所 東  
 コード番号 1852 URL http://www.asanuma.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)浅沼 健一  
 問合せ先責任者 (役職名)本社経理部長 (氏名)八木 良道 (TEL) 06(6585)5500  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	103,947	10.8	6,214	23.5	6,152	26.8	4,137	△30.8
29年3月期第3四半期	93,782	△14.9	5,032	35.9	4,853	38.2	5,977	88.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,993百万円(△28.9%) 29年3月期第3四半期 7,024百万円(93.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	49.39	—
29年3月期第3四半期	78.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	95,428	34,225	35.7
29年3月期	104,395	30,071	28.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 34,111百万円 29年3月期 29,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,300	7.2	7,660	14.9	7,330	14.8	4,940	△32.3	58.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	85,086,293株	29年3月期	85,086,293株	
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,315,493株	29年3月期	1,309,647株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	83,774,044株	29年3月期3Q	76,080,958株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
3. 補足情報	P. 9
四半期個別受注の概況	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善及び個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調が続いています。しかし、地政学的リスク等、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響には引き続き留意する必要があります。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、底堅い公共建設投資や、このところ一部住宅建設に弱含みが見られるものの、引き続き好調な企業業績を背景とした設備投資が増加傾向にある民間建設投資など、一定の水準で推移しています。しかしながら、技能労働者不足や資機材価格の上昇傾向など、引き続き懸念要素も存在しています。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は1,056億4千8百万円で、前年同期比13.8%の減少、売上高は1,039億4千7百万円で前年同期比10.8%の増加、売上総利益は113億5百万円で前年同期比18.2%の増加となりました。

営業利益については62億1千4百万円（前年同期比23.5%の増加）となりました。

経常利益については61億5千2百万円（前年同期比26.8%の増加）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については41億3千7百万円（前年同期比30.8%の減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (建 築)

受注高は866億9千3百万円(前年同期比12.2%減)、売上高は861億5千7百万円(前年同期比18.5%増)となり、セグメント利益は81億5千4百万円(前年同期比12.9%増)となりました。

## (土 木)

受注高は189億5千5百万円(前年同期比20.6%減)、売上高は169億6千4百万円(前年同期比16.5%減)となり、セグメント利益は29億4千1百万円(前年同期比38.1%増)となりました。

また、「その他」の事業については、売上高8億2千4百万円(前年同期比5.3%増)、セグメント利益7千5百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.8%減少し、797億6千9百万円となりました。これは、未収入金が83億3千8百万円増加したものの、仕入債務の減少により現金預金が107億1千8百万円減少、受取手形・完成工事未収入金等が47億4千6百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し、156億5千8百万円となりました。これは、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が8億2千1百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.6%減少し、954億2千8百万円となりました。

## (負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.4%減少し、531億9千7百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が72億5百万円減少、未払金が80億7百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて25.3%減少し、80億6百万円となりました。これは、長期借入金金が30億1千万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて17.7%減少し、612億3百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.8%増加し、342億2千5百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、利益剰余金が32億9千9百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の結果及び足下の状況を勘案し、平成29年5月10日に公表しました業績予想から修正しています。詳細につきましては、本日（平成30年2月8日）公表の「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	39,720	29,001
受取手形・完成工事未収入金等	42,561	37,814
未成工事支出金	2,609	947
その他のたな卸資産	127	43
未収入金	2,259	10,598
その他	2,193	1,429
貸倒引当金	△59	△64
流動資産合計	89,411	79,769
固定資産		
有形固定資産	4,715	4,666
無形固定資産	397	468
投資その他の資産		
その他	10,541	11,181
貸倒引当金	△669	△658
投資その他の資産合計	9,871	10,523
固定資産合計	14,984	15,658
資産合計	104,395	95,428
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	31,885	24,679
短期借入金	8,717	9,677
未払金	8,805	797
未払法人税等	755	446
未成工事受入金	7,593	9,950
完成工事補償引当金	450	516
工事損失引当金	253	159
その他	5,152	6,969
流動負債合計	63,613	53,197
固定負債		
長期借入金	6,124	3,113
退職給付に係る負債	4,376	4,349
その他	210	542
固定負債合計	10,710	8,006
負債合計	74,324	61,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,614	9,614
資本剰余金	2,165	2,166
利益剰余金	16,393	19,693
自己株式	△142	△145
株主資本合計	28,032	31,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,714	3,273
退職給付に係る調整累計額	△784	△491
その他の包括利益累計額合計	1,930	2,781
非支配株主持分	108	113
純資産合計	30,071	34,225
負債純資産合計	104,395	95,428

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	92,999	103,122
その他の事業売上高	783	824
売上高合計	93,782	103,947
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	83,650	92,027
その他の事業売上原価	565	614
売上原価合計	84,215	92,642
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	9,348	11,095
その他の事業総利益	217	209
売上総利益	9,566	11,305
販売費及び一般管理費	4,533	5,090
営業利益	5,032	6,214
<b>営業外収益</b>		
受取利息	87	79
受取配当金	106	112
持分法による投資利益	14	12
その他	18	37
営業外収益合計	225	241
<b>営業外費用</b>		
支払利息	274	179
支払手数料	80	92
その他	50	32
営業外費用合計	405	304
経常利益	4,853	6,152
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	0	0
会員権退会益	3	0
その他	0	0
特別利益合計	3	1
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	1	1
会員権評価損	0	—
減損損失	—	23
特別損失合計	2	24
税金等調整前四半期純利益	4,854	6,129
法人税、住民税及び事業税	643	798
法人税等調整額	△1,768	1,188
法人税等合計	△1,125	1,986
四半期純利益	5,980	4,142
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,977	4,137



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,980	4,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	371	558
退職給付に係る調整額	671	292
その他の包括利益合計	1,043	851
四半期包括利益	7,024	4,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,021	4,988
非支配株主に係る四半期包括利益	3	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 四半期個別受注の概況

## ① 個別受注実績

	受注高	
30年3月期第3四半期累計期間	105,648百万円	△13.8%
29年3月期第3四半期累計期間	122,586	17.2

(注) %表示は、前年同四半期比増減率を示す。

## (参考)受注実績内訳

区 分		平成29年3月期 第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		平成30年3月期 第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		比較増減		
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	
建設事業	建築	官庁	24,570	20.0	24,320	23.0	△249	△1.0
		民間	74,131	60.5	62,372	59.1	△11,758	△15.9
		計	98,702	80.5	86,693	82.1	△12,008	△12.2
	土木	官庁	16,828	13.7	16,863	15.9	35	0.2
		民間	7,055	5.8	2,091	2.0	△4,964	△70.4
		計	23,883	19.5	18,955	17.9	△4,928	△20.6
	合計	官庁	41,398	33.8	41,184	39.0	△214	△0.5
		民間	81,187	66.2	64,464	61.0	△16,722	△20.6
		計	122,586	100	105,648	100	△16,937	△13.8

## ② 個別受注予想

	受注高	
30年3月期予想	128,000百万円	△16.4%
29年3月期実績	153,096	9.4

(注) %表示は、前年同期比増減率を示す。

## [個別受注実績に関する定性的情報]

当第3四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比13.8%減の1,056億4千8百万円となりました。前年同期の受注が多かった反動と前年の通期実績も1,530億円強であったのに比べ、当期の受注予想は1,280億円としており、土木部門の官庁を除き、それ以外の分野では受注額が減少しております。